

令和5年度

(2023年4月～2024年3月)

尼崎理容美容専門学校

自己評価表

学校法人阪神専修学園

尼崎理容美容専門学校

令和6年5月27日

令和 5 年度自己評価

1 学校の教育理念、教育目標

本校は、建学の精神「克己」「努力」「奉仕」を教育理念とし、教育基本法、学校教育法ならびに理容師法および美容師法にもとづき、理容・美容等に関する知識と技能を習得せしめ併せて人格の徳性を育て、もって優秀なる理容師・美容師を養成することを目的とする。建学の精神を基に、自ら考えて行動することのできる、社会に貢献できるような「人財」の育成に取り組んでいる。

2 令和 5 年度の目標、計画

国家試験合格率の向上

国家試験科目である座学についてコロナ禍より感染拡大防止の意味もあり全リモート授業で行ってきたが、令和 5 年度からはより理解力を高められるように期末試験前の 2 回の授業について対面授業を実施。対面で行うことで、学生も分からないことがあればその場で講師に直接質問ができ、講師も目の前に学生が居ることで、どのくらい学生たちが理解しているのかということが把握しやすくなる。また期末試験の前に対面授業を行うことで、しっかり復習などもできると考える。合格率アップについては当然、座学の出来が大きく影響するので、学生たちには常日ごろから学ぶという意識をしっかり持ってもらいたい。

理美容甲子園大会など外部コンテストでの上位入賞

2 年生については選択必修科目である総合技術Ⅱの時間内に「競技技術」の時間を 1 学期で 90 時間設ける。美容科については理美容甲子園大会入賞を目指し、種目別（ワインディング・カット・アップスタイル・まつ毛エクステ・ネイルアート）に出場学生を分け、理美容甲子園大会に出場した経験のある卒業生らを講師として招き 90 時間授業を実施。出場を希望しない学生については、それ以外の外部コンテストや毎学期末に行う校内コンテストでの上位を目指してもらい授業（名称「実践」）を同じく 90 時間設ける。

また 2 学期には理容技術、美容技術の時間を 90 時間設け、基礎からサロンの現場で即生かせるような応用技術等を学びます。

1 年生については選択必修科目である総合技術Ⅱについては理容科と美容科でカリキュラムを分け、理容科は「理容技術」「アロマエステ」「競技技術」を 1 年間で計 360 時間学ぶ。美容科は 1 学期にアップとまつ毛エクステの基礎を、また選択科目である「メイクアップ」「ネイル技術」「アロマエステ」のベーシックを各 30 時間学び、2 学期以降はこの 3 つの中から 1 年次に 1 つ、2 年次に 1 つを選択して計 60 時間ずつ学ぶことになる。

理美容甲子園上位入賞を目指す「競技技術」についても 1 年次に 2 学期以降で 60 時間学ぶことで、理容科、美容科とも 1 年生のうちから競技大会上位入賞に向けての技術の練磨と心構えを習得してもらいたい。

これらを実践するために、学生ひとりひとりを教職員全体で指導する意識を持ち、常に互いのフォローができるような環境作りを心がける。

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・学校の理念・目的・育成人物像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色は何かを把握しているか	3
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
・学校の理念・目的・育成人物像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界の ニーズに向けて方向づけられているか	3
①課題	
・一人一人の教員が今後の将来のためにどのように向き合うかまた学校教育の認知がとても大切になると思う。	
②今後の改善方策	
・教員のすべてのの人が同じ方向を向くことが大切である	

(2) 学校運営	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・目的等にそった運営方針が策定されているか	3
・運営方針にそった事業計画が策定されているか	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか 有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2
①課題	
・業務の効率化は、まだまだ見直しが必要だと思う	
②今後の改善方策	
・業務の多様化している状況で、業務の見直しや情報の共有がもっと徹底する必要がある	

(3) 教育活動		
評価項目		適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか		3
・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		3
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか		3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか		3
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか		3
・授業評価の実施・評価体制はあるか		3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか		3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか		3
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか		3
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか		3
・関連分野における先端的な知識・技能等を取得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか		2
・職員の能力開発のための研修等が行われているか		3
①課題		
・リモート授業からオンライン授業への取り組みが必要 ・資格の合格率向上が早期課題だと思う ・国家試験の緊張感を維持させるために実践的に授業を行う		
②今後の改善方策		
・合格率向上のための教え方、効率よく学べる教育が必要 ・試験合格率を上げるなら実践的に行う		

(4) 学習成果	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・就職率の向上が図られているか	3
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
①課題	
・卒業生の授業の実施があると思う ・やりがいや他分野(免許取得)でも活躍できる情報などをキャッチする	
②今後の改善方策	
・卒業生の活躍を見る形で紹介し、授業に生かす取り組みがあればいい ・どの分野に興味があるのかはわかっているけど就職に興味をわかない人にはもっとヒアリングが必要	
(5) 学生支援	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	3
・卒業生への支援体制はあるか	3
①課題	
・お金の使い方などの授業が必要	
②今後の改善方策	
・近年SNSで高価な物、ライフスタイルの違いで自分の欲求で別にお金をかけがちだが、もっと理美容に関してのお金をどのように使うかを教える	

(6) 教育環境	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
・学校内の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2
・防災に対する体制は整備されているか	3
①課題	
・できている ・ボイラーなどの経年劣化	
②今後の改善方策	
・海外でのサロンワークなどをインターネット上でも確認できるのでそのような機会を作るのも大切	
(7) 学生の受け入れ募集	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・学生募集活動は、適切に行われているか	3
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	4
①課題	
・リモート・オンラインの活用した学生募集も必要	
②今後の改善方策	
・HP、ガイダンス、媒体以外での情報提供が課題	
(8) 財務	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査が適切に行われているか	3
・財務情報公開の体制整備はできているか	3
①課題	
②今後の改善方策	

(9) 法令等の遵守	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4
①課題	
・できている	
②今後の改善方策	
・できている	
(10) 社会貢献・地域貢献	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3
①課題	
②今後の改善方策	

4 自己評価

(1) 達成度	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・学校の教育目標	3
・本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標・計画	3
・仕事・役割分担、掃除分担	3

5 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年間の事業計画や自己評価項目については概ね適切である。次年度においては今年度の課題や改善点ならびに反省点を考慮し踏まえつつ、さらなる評価向上に向けて一人一人の教職員がより高い意識を持って取り組むべき。また検定・資格取得、国家試験合格だけではなく、将来のための職業教育に傾注しながら、より良い学びを提供できるよう教職員一丸となって努めていく必要がある。